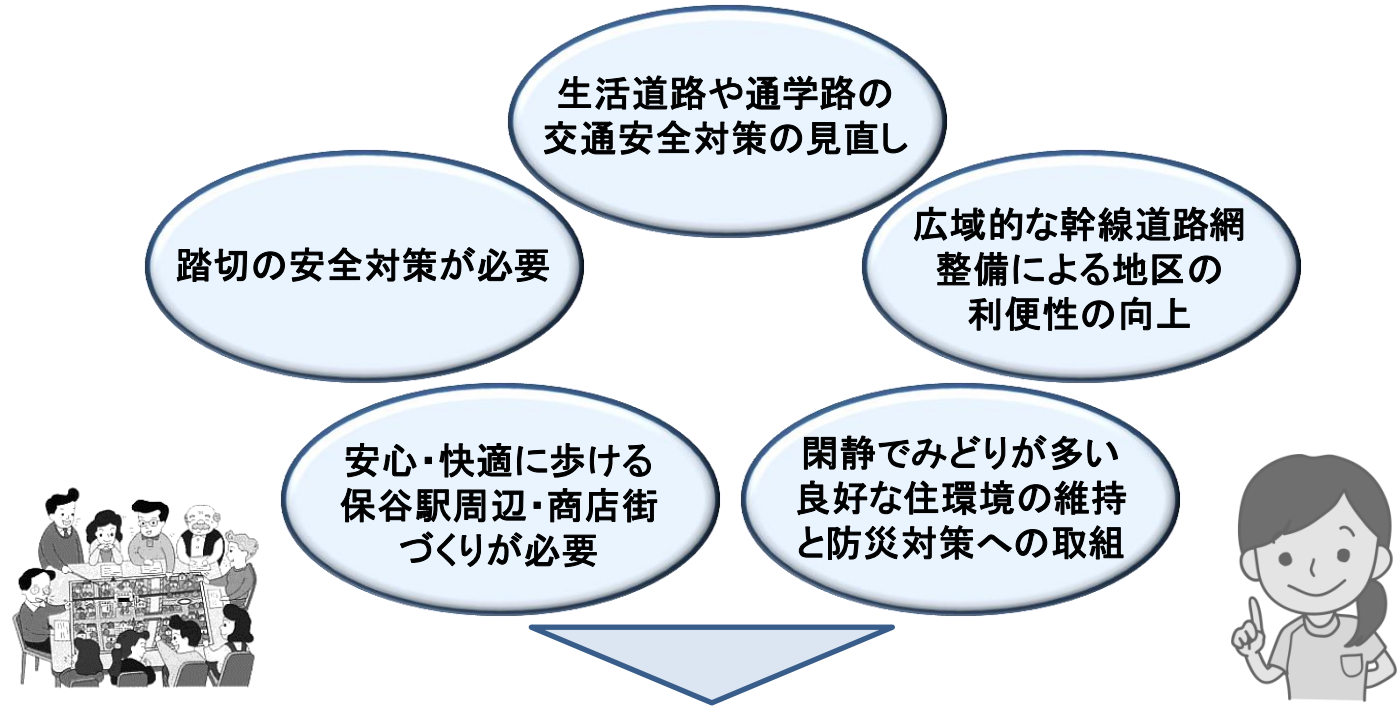


## まちづくりで大切な視点

第3回まちづくり協議会において、まちづくりで大切な視点をグループ毎に整理した内容を合わせると次のとおりです。



段階的な取組と具体的な対応策を検討するため、今後、協議会の皆さんと検討するテーマを確認し、提案づくりを進めていきます。

## スケジュール

平成26年度	第1回～3回 平成26年11月～平成27年8月	まちづくり準備会 ・協議会開催の準備、会員の募集など
平成27年度	まちづくり協議会 第1回	・まちづくり協議会 会則・体制 ・年度スケジュール など
	第2回	・地区の現況把握、課題抽出 ・まち歩き計画案 など
	第3回	・まち歩き点検実施 ・問題課題等のまとめ など
平成28年度 以降～	まちづくり協議会 第4回	・テーマ別の検討
	第5回～第8回	・テーマ別にワーキングを実施 ・テーマ別方針案のとりまとめ
	第9回	・まちづくり提言書案の検討 など

<問い合わせ先> 保谷駅周辺地区まちづくり協議会事務局  
練馬区 都市整備部 西部地域まちづくり課  
電話：03-5984-4753（直通） 担当：藤本、大窪、尾上

【発行】保谷駅周辺地区まちづくり協議会

# 保谷駅周辺地区まちづくりニュース

平成28年3月

## 保谷駅周辺地区まちづくり協議会を発足しました!!

### 会長のあいさつ

保谷駅周辺地区のまちづくりでは、協議会会員の皆さんとの意見を交換しながら、ゆっくり進めていくのが望ましい方法ではないかと思っております。『住んでいて良かった』というまちにしていきたいと思っておりますので、地域の皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

保谷駅周辺地区まちづくり協議会会長 平野繁太郎

### ■経緯

保谷駅周辺地区では、西武池袋線の踏切による朝夕の交通渋滞や、交通・商業環境などの面で様々な課題があります。また、周辺の住宅地においても良好な住環境を維持していくために、防災や景観の面から、まちづくりの検討が必要です。

### ■まちづくり協議会の目的

まちづくり協議会は、保谷駅周辺地区を、生活拠点にふさわしいまちにしていくために、まちづくりに関する提言を行うとともに、まちづくりの促進を図るために活動することを目的としています。

### ■活動内容

平成27年9月から、まちづくり提言書がまとまる概ね2年間の活動期間となりますが、その後もまちづくりを進める必要な活動は継続していきます。

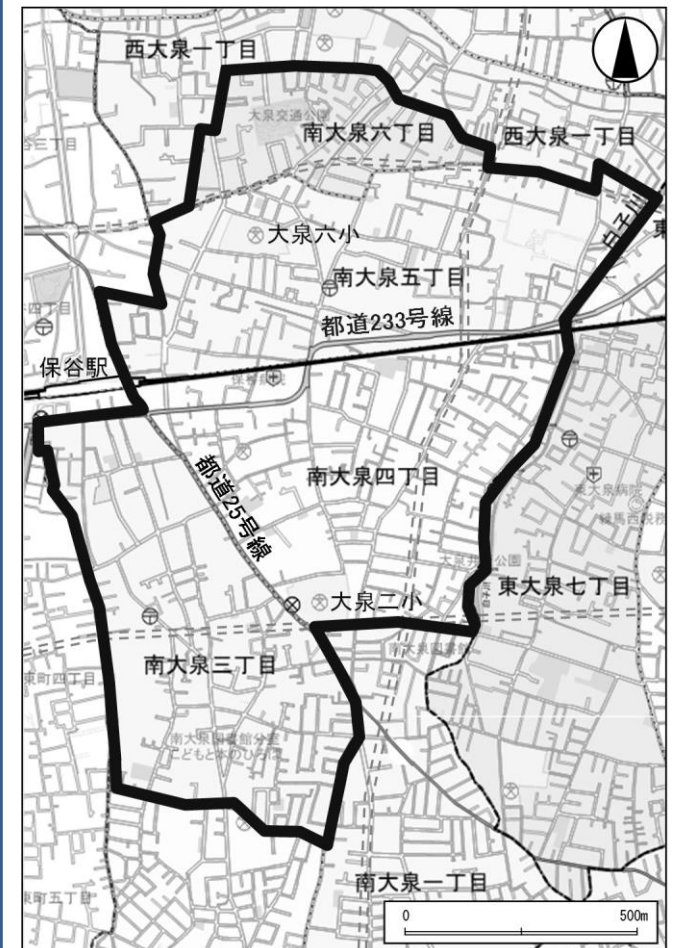
### ■会員の募集と会員数

会員の募集は、平成27年7月に行いました。会員は、本地区内の商店会、町会、小学校PTA、消防団から推薦を受けた方と公募会員の総勢50人です。

### ■役員の選出、協議会の運営

会長および副会長は、委員の互選により会長は町会から選出、副会長（3名）は町会と商店会から選出されました。

協議会の運営は、会長が招集し開催します。



保谷駅周辺地区

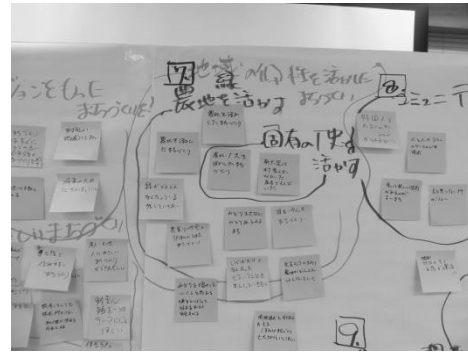
# まちづくり協議会の開催内容

## 第1回

開催日時：平成27年9月29日（火） 19時～20時30分  
 会場：南大泉地域集会所 3階集会室1、2  
 出席者：44名

### ■議事項目

1. まちづくり協議会発足
2. まちづくり協議会ガイダンス
3. 顔合わせとワークショップ



### ■顔合わせとワークショップの概要

第1回協議会では、会員の皆さんは初めて顔を合わせるので簡単な自己紹介とまちづくりに関心のあることについて、一言コメントをいただきました。

<いただいた主なご意見>

- ・安全安心なまちにしたい
- ・高齢者、子供、人に優しいまちづくり
- ・30年後を考えたまちづくりをしていきたい
- ・駅前通りは狭く車が多く危険
- ・開かずの踏切の解消
- ・狭い道路の問題を解消すべき
- ・農地を活かしたまちづくり など



## 第2回

開催日時：平成27年11月16日（月） 19時～21時  
 会場：南大泉地域集会所 3階集会室1、2  
 出席者：42名

### ■議事項目

1. 保谷駅周辺地区の概況について
2. まちづくりに関する住民意向について
3. ワークショップ

### ■ワークショップの概要

地区の概況等と前回の協議会の意見を参考に、3つのグループに分かれ、まちづくりで何とかしたい具体的な問題点、重要と思うことをマップに整理し、発表しました。

<マップに整理した主なご意見>

- ・保谷駅周辺道路は、交通量が多く、道路が狭く、歩道がないため危険、早期の改善整備が必要。
- ・3つの踏切は、交通量が多く渋滞、歩行者も集中し、事故も多い。消防車が地区南側にいけない。
- ・鉄道の高架化などは、時間軸を踏まえた検討が必要。
- ・子供が道路や校庭開放で遊んでいる。小学生が遊べる規模の公園が少ない。
- ・狭隘道路や行き止まり道路が多く、緊急車両が住宅地に入れない。 など



# まち歩きの様子

## 第3回

開催日時：平成28年2月14日（日） 9時30分～12時30分  
 会場：南大泉地域集会所 3階集会室1、2  
 出席者：31名

### ■まち歩きの概要

3つのグループに分かれて、協議会の会員の方と地区の現状を確認しました。

#### Aグループ

- ・安全・安心に歩けるように保谷駅前通りの改善
- ・危険な踏切の早期の安全対策
- ・通学路や利用が多い道路の交通安全対策
- ・地区の防災安全性の向上
- ・商店街の買い物環境の改善
- ・子どもが安心して遊べる環境づくりが必要
- ・西東京市と連携したまちづくりの検討

#### Bグループ

- ・保谷駅南口周辺・商店街の安心快適な歩行空間の確保
- ・危険な踏切の早期安全対策
- ・良好な住環境の維持・保全
- ・実情に即した交通安全対策の見直し
- ・良好な資源の活用
- ・広域的な幹線道路網整備による通過交通の流入抑制などで地区の交通安全確保
- ・段階的な対応策と具体的な実践への取組

#### Cグループ

- ・保谷駅前通りの歩道や老朽化した街灯等整備による安全対策
- ・高齢者を考慮した踏切の安全対策。今できる対策検討
- ・生活道路の整備でバスルート確保
- ・小学生が遊べる公園を確保
- ・広い農地を活用して防災性を向上
- ・最も望ましい対応方向は時間軸を踏まえて検討

② 補助156号線の交通渋滞のため抜け道になっている

① 車と歩行者が集中して危険踏切が急坂になっている

⑦ 抜け道になっている危険な交差点

③ 車の踏切待ちをするスペースが少ない

④ 歩行者が踏切待ちをするスペースがない

⑤ 駅前通りのセットバックした部分が歩きにくい

⑥ 通過交通が多いが幅員が狭い